

岬町住宅マスタープラン策定のためのアンケート調査（概要版）

1. アンケート実施の概要

目的：岬町住宅マスタープラン策定のために、住民の現在の住宅や住環境に対する評価、住まい方のニーズを把握し、今後の住宅政策の方向性や施策体系を検討する材料とします。

調査対象：住民基本台帳より無作為に抽出した20歳以上の町民1,000人

調査方法：郵送配布、インターネット回答及び郵送回収

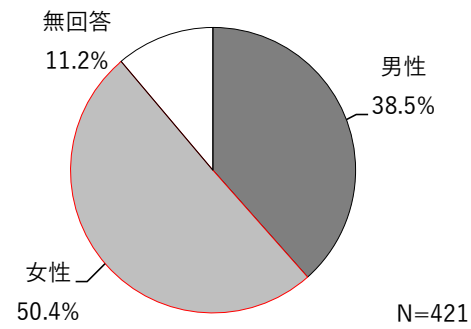
調査時期：令和3年9月8日（水）～令和3年9月21日（火）

回収数：421通（回収率42.1%）

2. 回答者属性

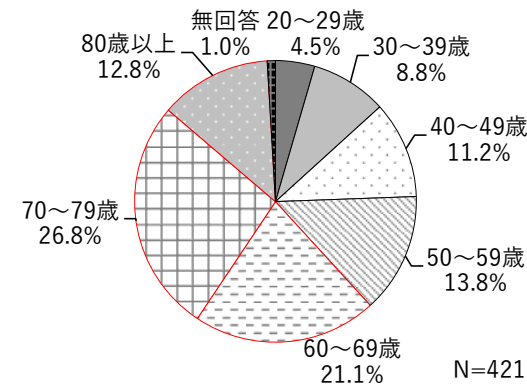
(1) 性別

男女比は、男性4：女性5程度となっています。



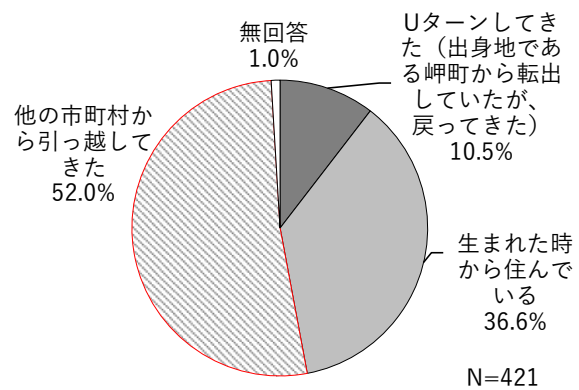
(2) 年齢

60歳以上が全体の60.7%で最も多くなっています。



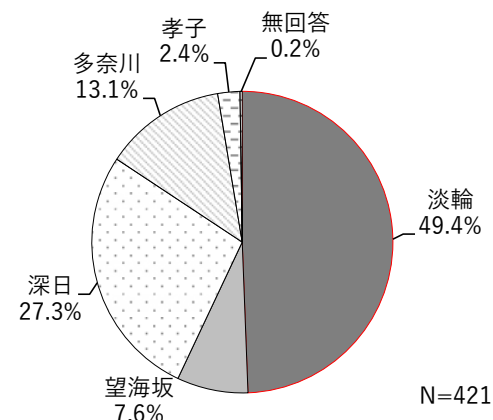
(3) 居住歴

他の市町村から引っ越してきた人が全体の52.0%で最も多くなっています。



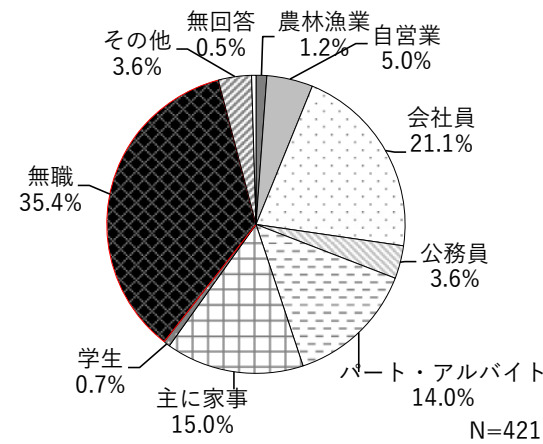
(4) 居住地域

「淡輪地域」が全体の49.4%で最も多く、次いで「深日地域」、「多奈川地域」となっています。



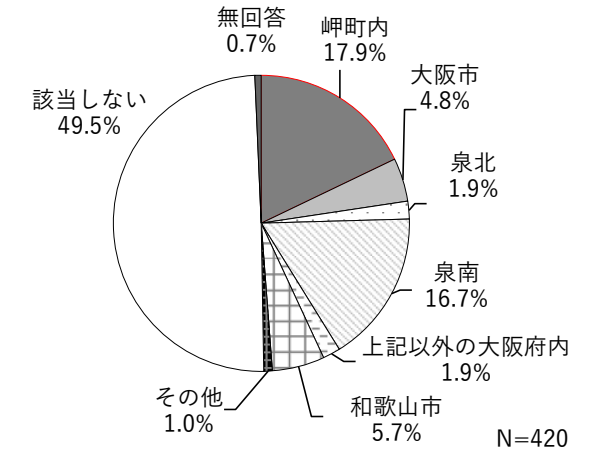
(5) 職業

「無職」の人が35.4%で最も多く、次いで「会社員」が21.1%、「主に家事」が15.0%となっています。



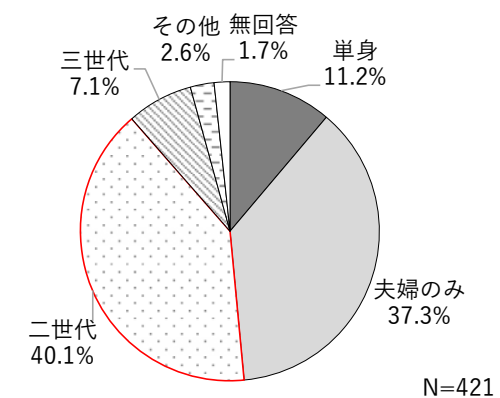
(6) 勤務先や通学先

「岬町内」が17.9%で最も多く、次いで「泉南」が16.7%となっています。



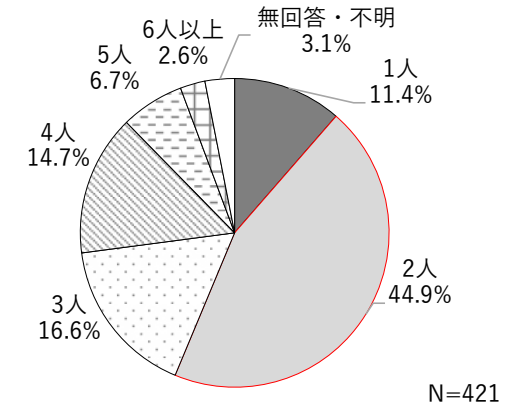
(7) 家族構成

「二世帯」が40.1%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が37.3%となっています。



(8) 世帯人数

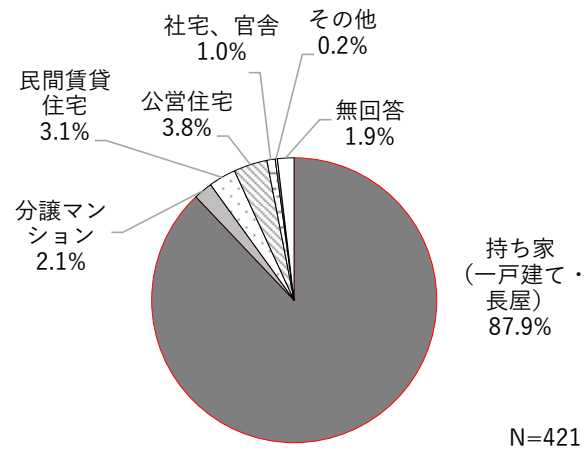
「2人」が44.9%で最も多く、次いで「3人」が16.6%、「4人」が14.7%となっています。



3. 現在の住まいについて

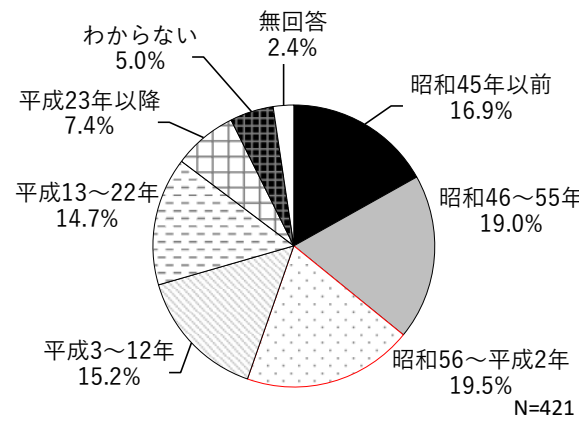
(1) 住宅の種類

持ち家（一戸建て・長屋）が全体の87.9%で最も多くなっています。



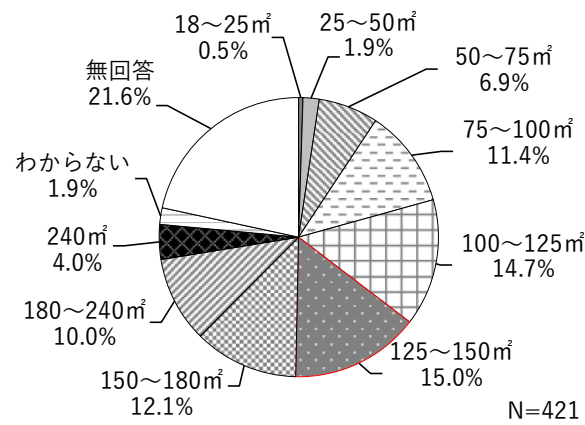
(2) 建築時期

「昭和56～平成2年」が19.5%で最も多く、昭和55年以前の建物が全体の35.9%となっています。



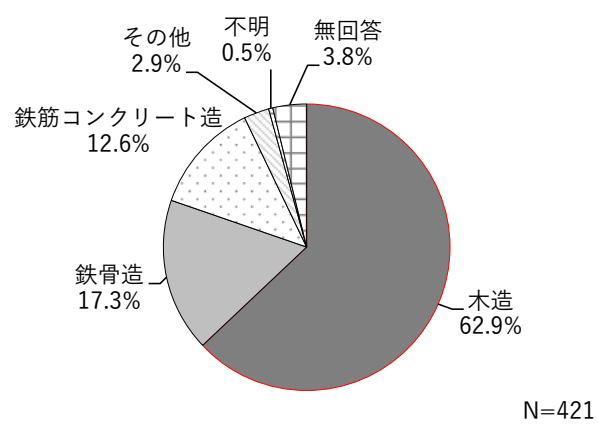
(3) 住宅の広さ

「125～150㎡」が15.0%で最も多く、次いで「100～125㎡」が14.7%、「150～180㎡」が12.1%となっています。



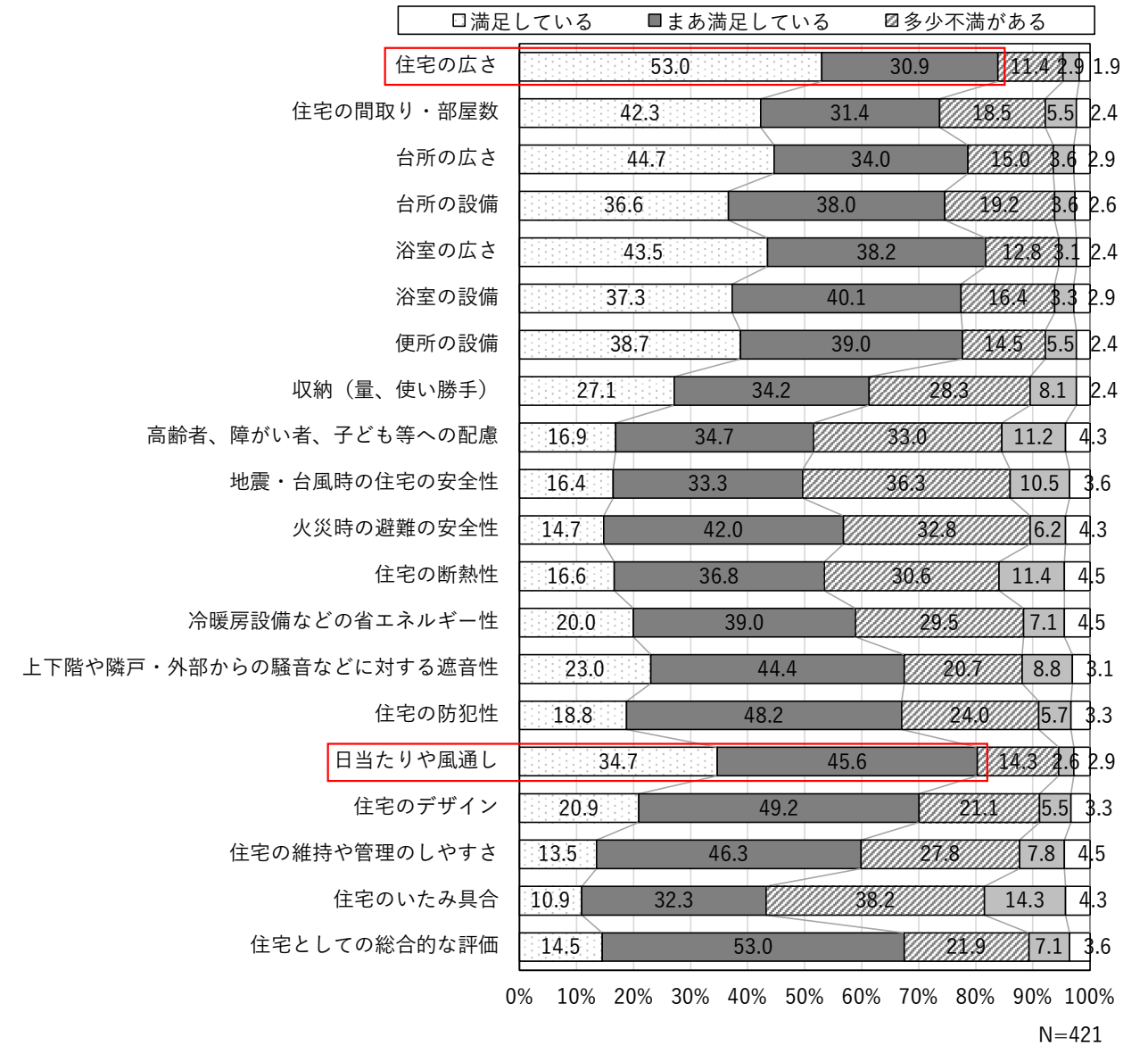
(4) 構造

木造住宅が62.9%で最も多くなっています。



(5) 住宅の満足度

本町における住まいの満足度を見ると、住宅の広さ、日当たりや風通しの項目が高くなっています。対して、住宅のいたみ具合や災害時の安全性、断熱性、バリアフリー性の満足度が低くなっています。総合的な評価としては、67.5%の方が住宅に満足されています。

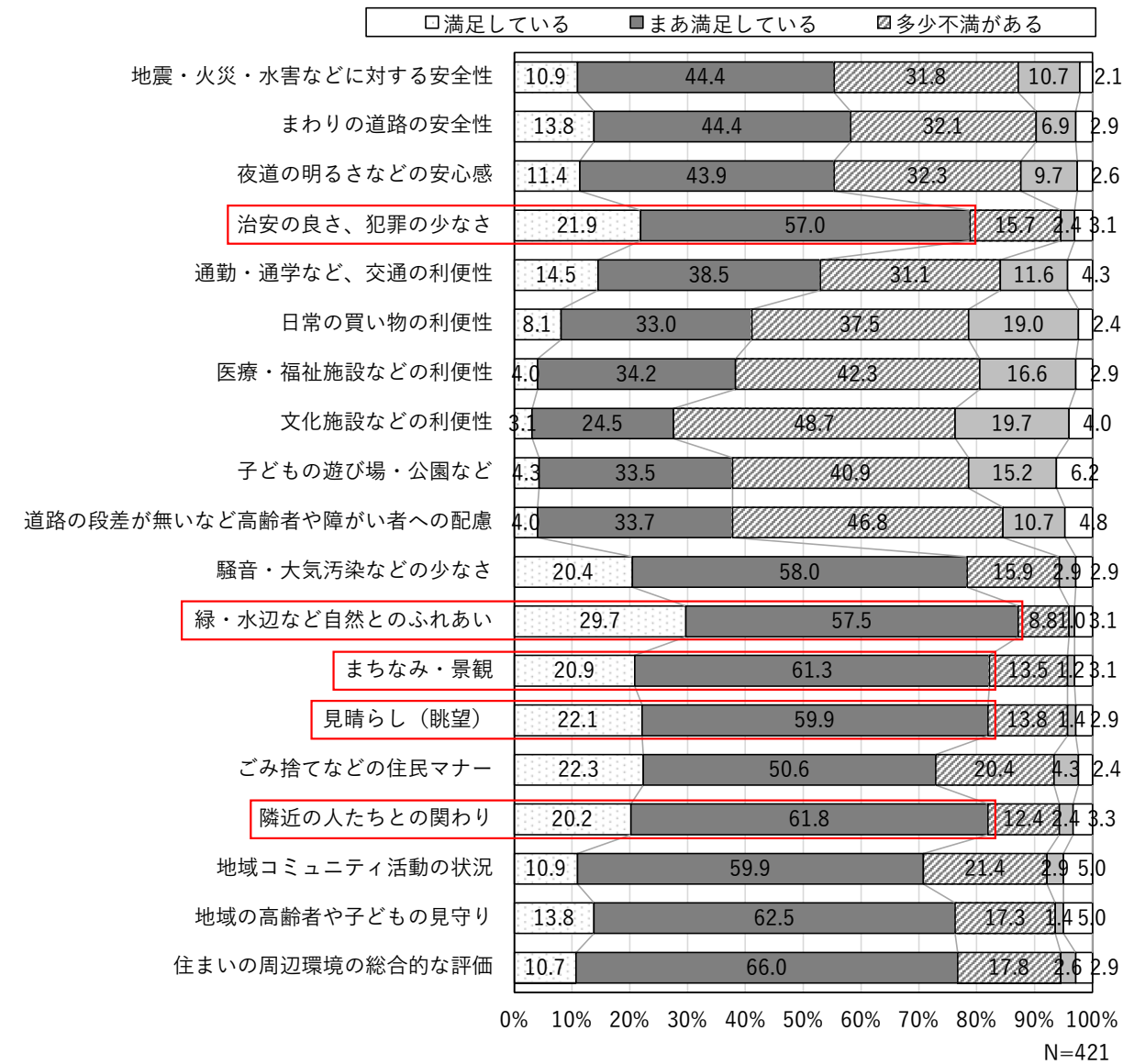


(6) 住環境の満足度

本町における住環境の満足度を見ると、緑・水辺など自然とのふれあい、まちなみや景観・見晴らし（眺望）、近所の人たちとの関わり、治安の良さの項目が高くなっています。

対して、文化・医療・福祉施設や日常の買い物、交通などの利便性、子どもの遊び場、道路や災害時の安全性の満足度が低くなっています。

総合的な評価としては、76.7%の方が住環境に満足されています。

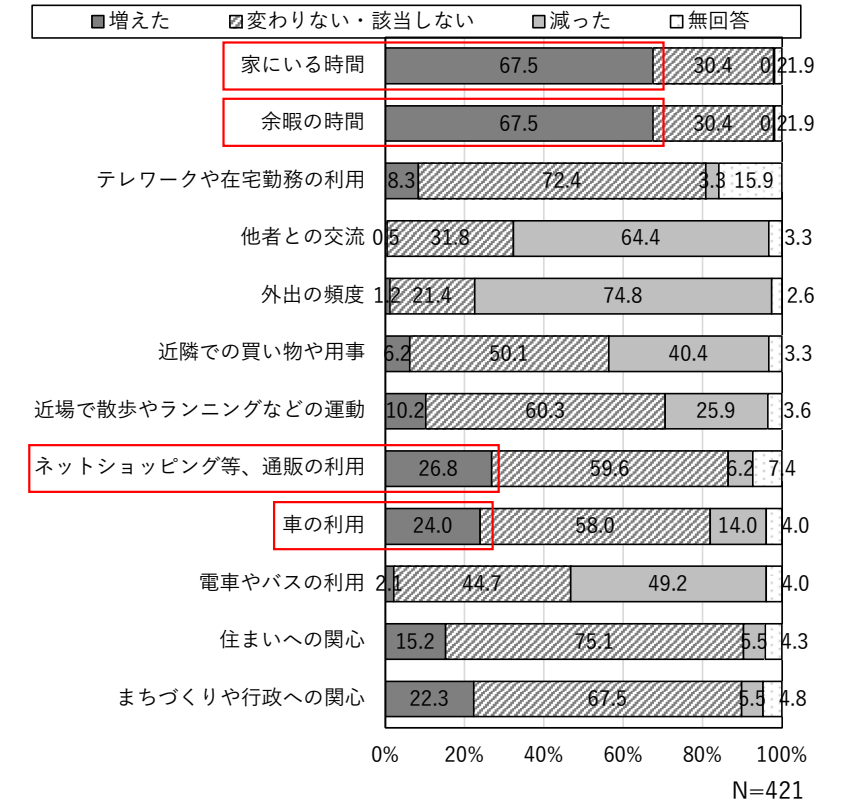


4. 居住状況の変化について

(1) コロナ後の生活の変化

増加した内容としては「余暇の時間」と「家にいる時間」が67.5%で最も多く、次いで「ネットショッピングの利用」が26.8%、「車の利用」が24.0%となっています。

また、減少した内容としては「外出の頻度」が74.8%で最も多く、次いで「他者との交流」が64.4%、「電車やバスの利用」が49.2%となっています。

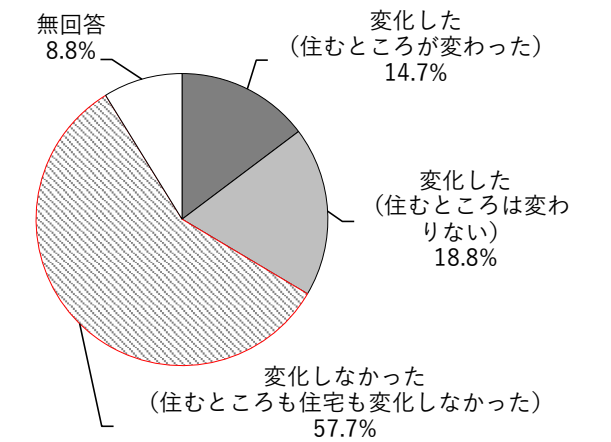


(2) 直近10年間の居住状況の変化

最近10年間の居住状況の変化では、「変化しなかった」が57.7%と最も多く、次いで「変化した（住むところは変わらない）」が18.8%、「変化した（住むところが変わった）」が14.7%となっています。

なお、変化理由として住むところが変わった方は「親・子・親族の家に移った」が21.9%で最も多く、次いで「新築の一戸建て住宅・長屋を買った」と「中古の一戸建て住宅・長屋を買った」が多くなっています。

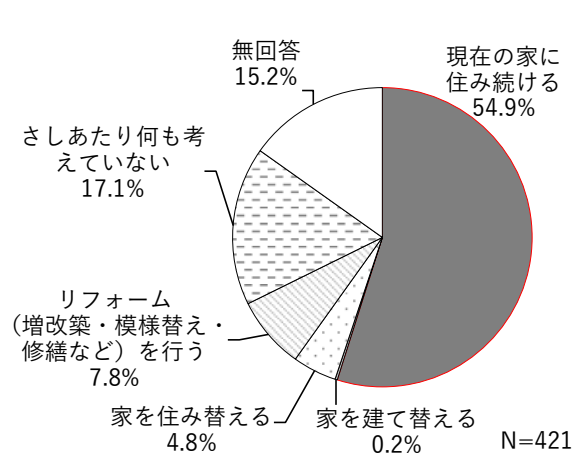
また、変化した（住むところは変わらない）と回答された方は「リフォームを行った」が92.4%となっています



5. これからの住まい方について

(1) 今後の住まい方の意向

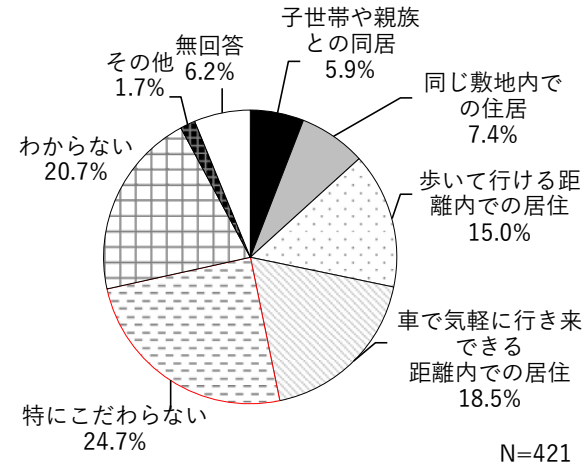
今後の住まい方の意向では、「現在の家に住み続ける」が全体の54.9%となっています。また、現在の地域に住み続ける意向が全体の67.7%となっています。



6. 老後の住まい方について

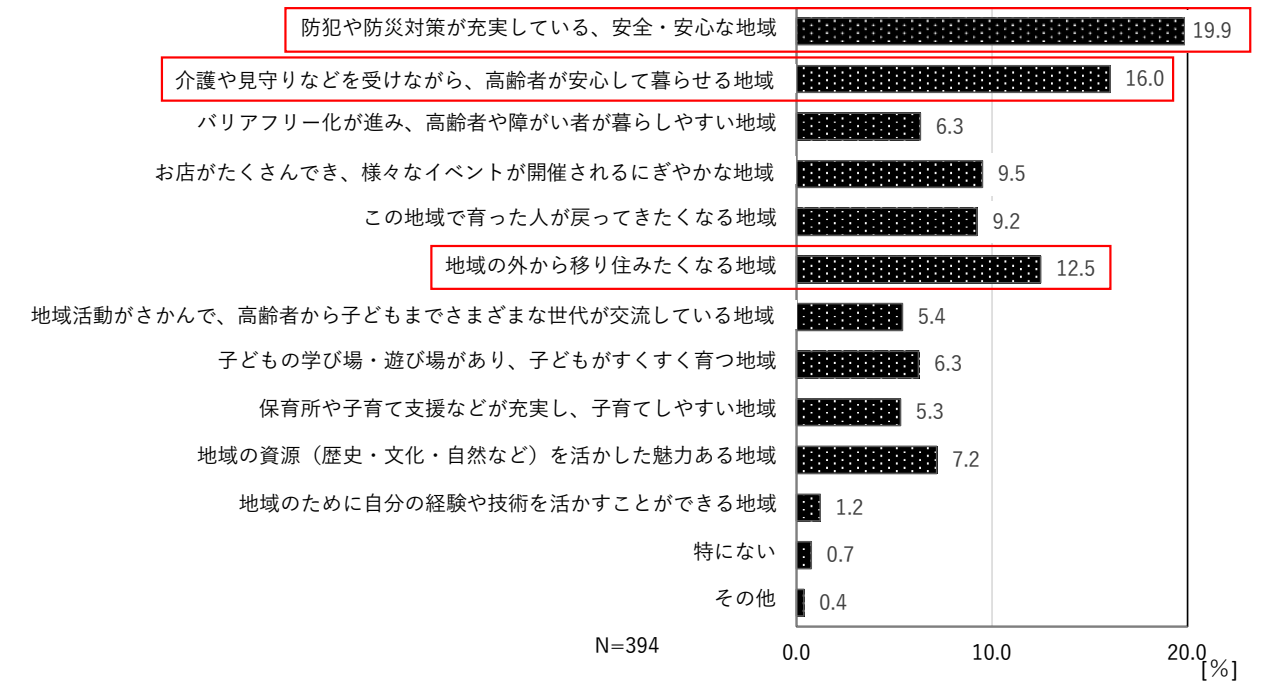
(1) 高齢期の子世帯との暮らし方

「特にこだわらない」が24.7%と最も多く、次いで「車で気軽に行き来できる距離内での居住」は18.5%、「歩いて行ける距離内での居住」が15.0%となっています。



(2) 求める地域像

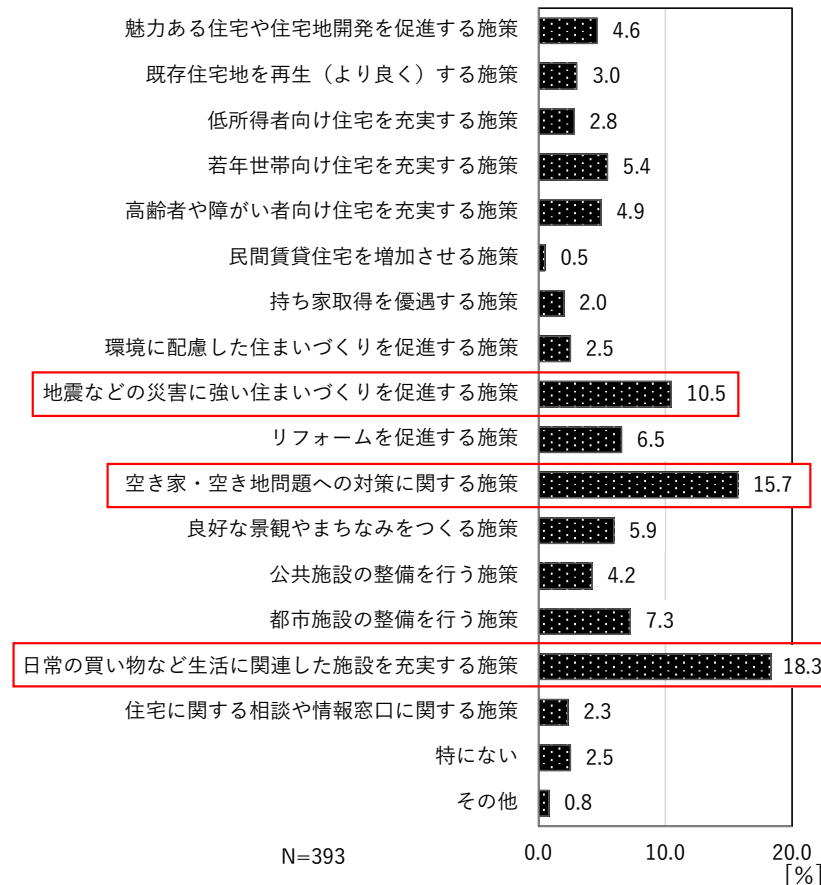
「防犯や防災対策が充実している、安全・安心な地域」が19.9%で最も多く、次いで「介護や見守りを受けながら、高齢者が安心して暮らせる地域」が16.0%、「地域の外から移り住みたくなる地域」が12.5%となっています。



7. 住宅施策について

(1) 今後必要だと思う住宅施策

「日常の買い物など生活に関連した施設を充実する施策」が18.3%で最も多く、次いで「空き家・空き地問題への対策に関する施策」が15.7%、「地震などの災害に強い住まいづくりを促進する施策」が10.5%となっています。



8. 自由記述の状況について

(1) 自由記述の概要

自由記述は延べ203の意見をいただきました。内容としては、みさき公園が活用されることを望むご意見や、海・山といった自然環境に魅力があるといったご意見、空き家に関する不安のご意見などが多く見受けられました。

【意見の例】

- ・みさき公園跡地の早期有効利用が町の活性化に繋がると思うので希望します。
- ・自然環境として、海・山・川に恵まれており、この資源を生かした事業に取り組むことが望ましい。
- ・岬町の山や海の美しい環境をアピールして若い世代が住みたくなる町にして、人口を増やして活気ある岬町にしてほしい。住宅問題(空き家をリフォームして若い世代に住んでもらう)、子供の遊び場を増やす(みさき公園など)
- ・空き地、空家が多いように思いますが、持ち主に連絡をして町の美化を図れないのでしょうか。
- ・岬町でも高齢化社会のなか空き家増加して環境の変化も増加傾向にあり、空家を活用した移住者支援事業に大賛成である。
- ・車が運転できない高齢者(単身)でも、食料品、日用品のお買い物がしやすい町になればいいと思う。